

鴨川市教育委員会 2 月定例会会議録

1 日 時 平成 2 5 年 2 月 2 0 日 (水) 開会 午後 3 時 3 0 分
閉会 午後 4 時 4 5 分

2 場 所 鴨川市天津小湊支所

3 出席委員 (1) 佐々木久之 (2) 根本新太郎 (3) 佐久間秀子
(4) 村上 修平 (5) 野田 純

4 出席職員 (1) 蒔苗 茂 (2) 前田恵美子 (3) 黒野 雅典
(4) 原 一郎 (5) 小倉 茂

5 委員報告

- ・ 佐久間委員から、市内幼稚園や学校のかぜの状況を知りたいとの意見が出された。
- ・ 村上委員から、高校入試の前期合格発表があったが、生徒が希望通りいけたのか、今後どのようになるのか、わかる範囲で教えてほしいとの意見が出された。
- ・ 佐々木委員から、2月6日に市議会一般質問があったこと、東条幼稚園の預かり保育で4歳児まで拡大するにあたり、はじめから4、5歳児を対象に預かり保育ができたのではないかと、人数把握の見通しが甘かったのではとの質問があり、今後はこのような意見を真摯に受け止め教育委員会としてもよりよい子育て環境を整えていく必要があること、2月16日に長狭街道駅伝大会の開会式があり、風の強い中大勢の方が出席して行われたこと、大会は24日に行われること、等の報告がなされた。

6 教育長報告

- ・ 野田教育長から、1月22日に太海地区、24日に曾呂地区において第2次学校適正規模検討委員会の答申に基づいた内容の地区説明会があったこと、両地区とも江見地区とは違い統合反対の声がなかったこと、24日に人事に関する事で南房総教育事務所長との面接があったこと、人事関係で1月から2月にかけて校長や事務所長との面接が数回あったこと、3月上旬に管理職等の人事関係で臨時会を開く予定であること、定例市議会では東条幼稚園の預かり保育に関して一般質問があったこと、4歳児の預かり保育を追加募集することについて見通しが甘かったことではとの指摘があり、率直に反省するとともに今後施策を進めていく上で参考にしなければならないと考えたこと、低学年球技大会では鴨川小がノロウィルスのため不

参加となったこと、東洋大学や法政大学の野球部など強豪校が当地でキャンプを行っていること、2月16日にウォークラリー大会があり、寒い中大勢の親子が参加したこと、2月17日に鴨川走ろう大会と小学生駅伝大会があったこと、鴨川市内の学校から大勢参加したこと、今回は市外から野田ジュニア陸上クラブが参加し、優勝した。

【報告に対する質疑】

- 佐久間委員からのかぜの状況についての質問に対して、蒔苗教育次長からインフルエンザの流行した時期が1月下旬から2月上旬であったこと、高校入試のある最近では幸いなことに収まってきていること、ノロウィルスについては2月8日に鴨川小学校で学年閉鎖に至り、他学年への拡大が心配されたが広がることなく収束したこと、また、村上委員からの高校入試についての質問に対して、蒔苗教育次長から前期試験は近年になく高い倍率であったこと、長狭高校においては2倍、安房高校においても2倍近くで前年と比べても高かったこと、したがって市内中学校の受験者の中にも相当数の不合格者が出たこと、この結果を踏まえて後期試験の志望校を決定していくこと、各中学校においては既に合格している生徒と進路未定の生徒がいるため、非常に気配り心配りが求められる時期であること、後期入試が終わり次第進路状況について報告したいこと、等について説明がなされた。
- 佐々木委員から公立高校の倍率が高くなった理由についての質問があり、蒔苗教育次長より県教委がいろいろな視点から各高校の定員を決定していること、定員割れを起こしている高校があるがその定員が満たされることを前提としていること、私立高校への進学者も想定していること、経済状況の悪化から私立から公立への回帰が起きていること、等の説明がなされた。
- 村上委員から前期後期の入試制度から倍率が上がったのでは、今までは中学校で受験先を調整して生徒全員が高校に行けるようにしていたのではとの質問があり、蒔苗教育次長から生徒の受験機会が2回あるため、一部高校においては前期試験の倍率が上がったことも否定できないこと、昔とは違い今は保護者や本人の考えを尊重して志望校を決定するようになっているため、中学校側で調整することは困難になっていることも理由にあげられる、との説明がなされた。
- 佐久間委員から昨年度はこんなに倍率が高くなかったのに今年度はどうして高くなったのか、昨年度の前期受験で落ちてしまった生徒の親が“うちの子にとっては今後の大学受験を考えると良い経験となった。”と言っていたことを覚えているが、お子さんにとっては大変だったろうなと思うこと、なぜ前期後期に分けて入試をすることになったのか等の質問があり、蒔苗教育次長から公立志望の傾向が顕著になったことや勉強しない生徒の増加が受験制度改革の契機になったこと、等の説明が

なされた。

- ・他の質疑がなく、全員の了承が得られた。

7 議 事

(1) 「鴨川市預かり保育実施要綱の一部を改正する告示の一部を改正する告示について」

- ・前田学校教育課長より、P 9 から P 1 2 の資料をもとに、「鴨川市預かり保育実施要綱の一部を改正する告示の一部を改正する告示」の趣旨、主に東条幼稚園 4 歳児の預かり保育が追加になったことについて説明がなされた。
- ・佐々木委員から東条幼稚園の預かり保育を 4 歳児に拡大した場合、どの程度の人数を見込んでいるのか、また、現在預かりを実施している園では各園で預かり保育の時間が違っているが、子育てサービスの視点から考えると市内全園でそろえる必要があるのではとの質問があり、野田教育長と前田学校教育課長から既に追加募集が終わって 1 9 件であること、預かり保育については随時受付が可能であること、預かり保育の時間帯についてはその地域の各保育園の延長保育に倣っているので時間帯に相違があること、今後とも協議していく事項であること、等の説明がなされた。

- ・その他の質疑なく、全員の了承が得られた。

(2) 「鴨川市社会教育指導員の委嘱について」

- ・黒野生涯教育課長より、P 1 4、1 5 の資料をもとに、「鴨川市社会教育指導員の委嘱」について、説明がなされた。
- ・村上委員から通算 6 年目に入ることになるが、少し長いのではとの質問があり、黒野生涯教育課長より確かに若干長い感じを受けるかもしれないが、この方の実績、力量、信頼度からして適任と判断し委嘱したこと、今後はある程度の期間を持って考えるべき、等について説明がなされた。

- ・その他の質疑なく、全員の了承が得られた。

(3) 「鴨川市家庭教育指導員の委嘱について」

- ・黒野生涯学習課長より、資料 P 1 6 から P 1 8 をもとに、「鴨川市家庭教育指導員の委嘱」について、説明がなされた。
- ・村上委員から家庭教育指導委員は経験がものをいう仕事だと思うが、任期を 1 年ではなく長くできないのかとの質問があり、黒野生涯学習課長よりこの任期を変える

場合には規則の改正が必要になること、任期については今後検討したいとの説明がなされた。

- ・ その他の質疑なく、全員の了承が得られた。

(4) 「鴨川市郷土資料館長の委嘱について」

- ・ 黒野生涯学習課長より、資料P 1 9からP 2 1をもとに、「鴨川市郷土資料館長の委嘱」について説明がなされた。

- ・ 全員の了承が得られた。

(5) 「鴨川市立図書館長の委嘱について」

- ・ 黒野生涯学習課長より、資料P 2 2からP 2 4をもとに、「鴨川市立図書館長の委嘱」について説明がなされた。

- ・ 全員の了承が得られた。

8 その他

- (1) 各課長から、「3月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 蒔苗教育次長から、いじめの件について説明がなされ、各委員からさまざまな意見が出された。
- (3) 黒野生涯学習課長から、公民館祭りと石造物特別展、青年会議所のリーフレットについて説明がなされた。

佐々木委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成25年3月21日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 蒔苗 茂